



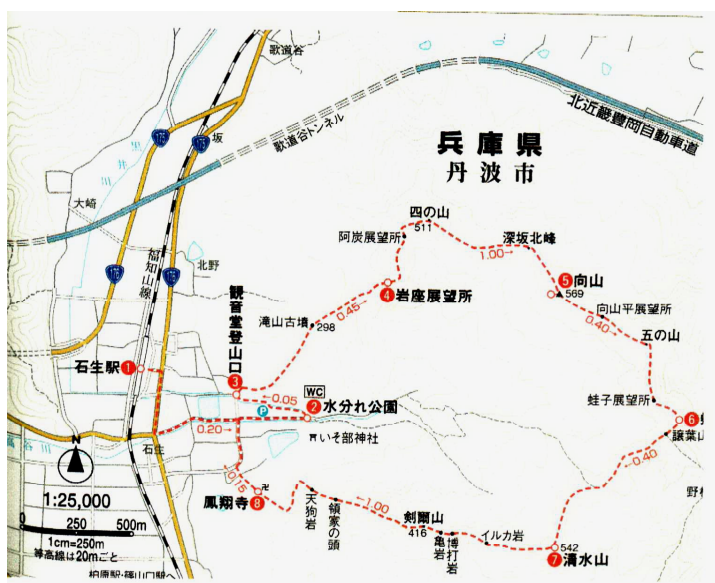
日本一低い分水嶺のある向山連山ハイキングの案内

今年度最初の源流巡りは、向山連山です。ぐると一回りするのに5時間ほどかかります。一番高い山は向山で569mです。ここには日本で一番低い分水嶺があります。日本海と瀬戸内海に流れる川の境界です。

森と海の自然科が訪れるには最適の場所といえるでしょう。またこの山はヒカゲツツジの自生地でもあります。年によって天候に左右されますが、時期的には4月中旬がよいのですが都合によりこの時期になりました。

- | | | | |
|---------|---|---|--------------------|
| 1: 日 | 時 | 平成29年3月16日(木) | 集合場所: JR 石生駅 9時10分 |
| 2: 持ち物 | | 弁当、水筒、雨具、双眼鏡、ストック等 | |
| 4: 行程 | | JR 石生駅・・水分れ公園・・登山口・・岩屋展望台・・向山(昼食)・・五ノ山・・蛭子展望台・・蛭子峰・・清水山・・鳳翔寺・・石生駅(解散) | |
| 5: 行程距離 | | 約11km | 歩行時間 約5時間 |
| 6: 経路 | | 下記の地図参照 | |

担当: 源流グループ



石生駅

今回はヒカゲツツジの花は見られませんが、花の時期だと岩屋展望所を過ぎたところから尾根道の至る所で見られます。以前4月中旬に行ったときには満開でした。今回は青春18切符を有効に活用して参りたいと思っています。



分水嶺の説明板

← ヒカゲツツジ 残念ですが今回は見られません

石生行き为例

大阪駅発	7:17分	(JR 神戸線新快速)	
尼崎駅着	7:22分	宝塚線快速	7:25分発
		川西池田駅	7:38分着
		(福知山行)	7:41分発
		石生駅	9:05分着



向山連山縦走ハイキングの記録

- 1: 日 時 29年3月16日(木曜日) 天気 曇り後曇 歩行数 21858 歩 歩行距離 10.05 km
 2: 参加者 浅野、大石、並木、中曽根、甲斐、金戸、金高、倭、伊藤、後藤、万井、藤井、杉谷、山下、李三の15名です。
 3: 行 程 JR 石生駅・・水分れ公園・・観音堂登山口・・滝山古墳・・岩座展望所・・四の山・・深坂北方・・向山(昼食)・・蛙子峰・・エスケープルート・・JR 石生駅(解散)
 4: 経 路 下の地図参照



JR 石生駅に15名が集合し、まずは水分れ公園で水が2つの方向に流れているところを見学し、その後向山連山縦走が始まりました。



水分れ公園で記念写真を

最高地点でも600mもない山ですが、なかなかどうして結構急登のある山でした。下から見たらさほどでもないのですが、登ると少し大変です。この時期には登りたくなかったです。

登るなら4月中旬でしょう。



石生駅から見た向山

4月に計画していた向山連山縦走計画が1ヶ月前倒しとなりました。そのため、ヒカゲツツジを見ることはできませんが、日本一低い分水嶺を見ることができました。高谷川の水がここで分かれ日本海に注ぐのと瀬戸内海に注ぐのに分れます。

説明の看板にそのように書いていました。



谷中中央分水界

観音堂登山口を目指して歩きました。天気はまずまずです。このコースがこの山では一番緩やかなコースだと地元の人から教えられ歩いて行きます。以前公園の所からの登ったコースより確かに緩やかでしたが、それでも急坂でした。鹿やイノシシよけのフェンスを開け登っていきます。滝山古墳で大休憩をとりました。



結構急坂です

岩座展望所を通過して四の山に着きました。本来ならばここからヒカゲツツジの群落が始まります。天気が急変しました。突然みぞれが降ってきました。こら大変と思っているとやみ晴れてきました。ここまで来ると後は尾根伝いの道でした。向山山頂に着きました。



左の写真は平成25年4月14日向山連山縦走した時の四の山周辺で咲いていたヒカゲツツジです。

向山で昼食をとりました。昼食後コースを変更することを伝えました。ここまでの登りで、足を痛められたのでした。そこで、午後からはエスケープルートを通ることになりました。 **下山途中の岩場に登り展望を楽しむ ↓**



急降下で降りていく道でした。フィックスロープがあるのですが、慣れていないと降りるのは大変です。そのため、かえって悪くしてしまったようでした。本当にすみません。



ロープがありますが・・・

水分れ公園に皆さん無事に到着したときは内心ホッとしました。朝観察した水分かれをもう一度見て石生駅に向かいました。駅にはお店がないのでローソンを探します。



手前が日本海に注ぐ川です

源平合戦の鶴越でしょうか。何ともすごい下りです。それでも皆さん怪我も無く降りられました。良かったです。



急降下の下りは樹木を頼りにして

電車内は森海のメンバーで宴会です。他のお客はうるさかったでしょうね。すみません。

たまにはこんな道を降りるのも良いでしょう。次年度の源流シリーズの例会をお楽しみ下さい。